

MAHOROBA DAYORI

9.
2018

まほろばだより

発行 社会福祉法人まほろば

〒673-0434 兵庫県三木市別所町小林

字仕負谷118-111

TEL0794-82-9457

FAX0794-82-3784

<http://www.mahoroba.or.jp>



MAHOROBA
まほろば



「初代の心と 後に続く者」

社会福祉法人まほろば 理事長 飯降政彦

二十四節気の一つで暑さが落ち着き始める頃といわれる「処暑」から、何と、早や一カ月も経過し、9月も中旬を迎えようとしておりますが、暑さは続いております。今年の気候は異常です。「千年猛暑」、「スーパー猛暑」といった言葉も耳にし、高齢の方を中心に熱中症で倒れる人も大勢出ました。加えて、豪雨、台風そして地震の被害も各地に出ておりますが、この荒れた夏、皆さまは如何お過ごしでしょうか。

さて、私は昨年より歴とした後期高齢者の仲間に入れていただいておりますが、人生の歩みについて、近頃しみじみ思うことがあります。

線引きは困難ですが、若者のあるべきは将来に向かい自分の目標、理想をもって日々を歩む事。そして年配者は、人生経験が豊富で、成功した場合もありまた失敗したケースもありで、故に、前に進むにしても、絶えずこれまでの歩みに反省を加えつつ歩みます。これがお互い人間の姿だと思います。

これは、組織も同様です。新しい組織は目標に向かって進めばよいのですが、年限の経過とともに、しがらみや付随物が絡んできて、そういったものに囚われて前に進む力が弱まります。勿論、組織は前に進まねばなりません、この時、足元を見ながら理想を求めるといふ、組織運営の上にも、若い人と年配者のそれぞれが上手く噛み合うことが大切です。

またそこに、目的を決め目標を定めるについては、初代の精神は絶対に忘れてはなりません。ただ漫然とポオッと歩んでいては、同じ歩みにしても生き生きとした歩みにはなりません。今の歩みには過去の歩み・歴史があります。歴史があればあるほど、失敗談も成功例もあり、色々な横槍が入ったり、逆にエネルギーを頂いたりすることもあります。その体験があって今の歩みがあるのです。こういったことを心に置きながら、夢を目標にして歩む、ここに着実に実のある歩みが生まれると信じます。

社会福祉法人まほろばの初代理事長が理想とされた地域に対する貢献を進める場として、この度、神出町古神の地に新しく得た土地を活用したいと考えています。



第25回



MAHOROBA CARNIVAL

2018,5,20(日)

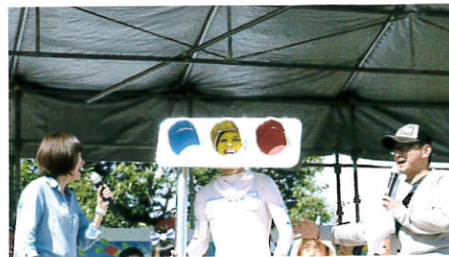
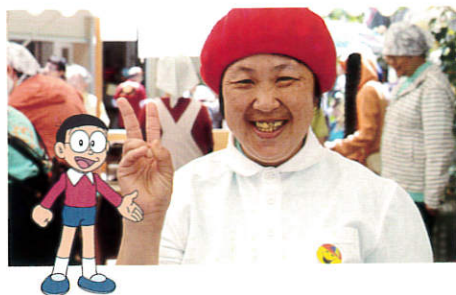
まほろばカーニバルを
開催しました!

今年から始まった仮装大会



5月20日、「第25回まほろばカーニバル」を開催いたしました。お天気にも恵まれ、職員スタッフはもちろんのこと、利用者やその保護者の方をはじめ地域の皆様や、ボランティアの方々に支えていただき、無事に行事を終えることができました。来場者数は約4,400人と過去最大の人数の方がお越しください、たくさんの方とふれあうことができました。また、今年はよりまほろばカーニバルを楽しんでいただき、会場を盛り上げるためにイベントとして「仮装大会」を行いました。多くの方が仮装大会にエントリーしてくださいました。審査員判定で最も素晴らしい仮装をされた方には優勝商品もあり、

皆さんとても気に入っており、大いに会場を盛り上げてくれました。



カーニバルを終えての慰労会として、5月29日（火）にバーベキューを三木光司園中庭で実施しました。午前中に各施設の職員が協力して、火をおこしたり会場の設営や食材の準備をしました。中庭では肉や野菜、タレのコーナー、ごはんやかき氷のコーナーなどを設けてセルフサービスの形をとり、楽しめるようにしました。天気にも恵まれ、肉や野菜の焼ける香ばしいにおいと賑やかな雰囲気の中、和気あいあいとした時間を過ごし、素敵な慰労会となりました。



温故知新

『温故知新』—「故（ふる）きを温（たず）ねて新しきを知る」。このコーナーは、昔のことや人をたずねることで自分達の知恵にするものである。今回は三木光司園開園前の昭和62年2月1日に発行された広報誌『まほろば』より門口守子常務理事の記事や実際に訪ねて聞いたことから学んでいきたい。

— 障害を持つ人も、健康な人も、その人その人の能力を引き出し合い、助け合って行かなければ、国や一部の慈善家の好意による福祉では行き詰まりができてしまいます。障害を持つ人が、それぞれの能力に合った生きがいのある仕事を持って、自立できる道を共に歩もうと考え、その活動に理解と協力を求めて開園準備を進めてきました —（以上、記事より原文のまま抜粋）

当時は、「障がいを持つ人に仕事をさせるなんてとんでもない」という風潮が強く、大変な思いをしたと門口守子常務理事は振り返る。しかし、時代が流れていくにつれて障がいを持つ人も地域や社会に参加し、共に自立した生活を目指すように考え方がシフトしていく。まほろばのぶれない理念や方針が間違いではなかったこと、そしてその考え方に協力してくれる方々との縁があったおかげで現在まで受け継がれてきたのだ。

開園や実際の施設活動で兼ねてから親交の深かった「木の根学園」創設者の丸山克己先生にお話を伺う機会があり、心に留まったことをここに記しておきたい。

丸山先生は教師という立場で「知的な発達の遅れの程度によって、教育を受ける権利が奪われるのはおかしい」「きっとこの子たちにも伝えたいことがあるはず」だとし、知的障がい者のための教育を切り拓いてこられた。教師が代わると生徒が登校できない、卒業後の進路先が見つからないという現実を目の当たりにし、力になるべく木の根学園創設に至っている。

「驕（おご）りと卑下（ひげ）の間に差別がある」と表現した丸山先生と、「障がいを持つ人に生きがいのある仕事を」と唱えてきた門口守子常務理事。お二人の核となる“人が人として当たり前のように生活できるように尽力する力”と“目に見えない縁を大切に作る心”を私たちも受け継いでいきたい。 記事担当：春田

夏の風物詩

流しそうめんをしました！

猛暑の続く7月“この暑い時期でも楽しめる行事をしよう！”ということで夏らしい流しそうめんを三木光司園の中庭で行いました。何事にも全力まほろば、そうめん流しも本格的に竹を組み立てました！また、ただそうめんだけを流すのも面白くないのでパイナップルやミニトマトなども流しました！利用者さんもびっくりしながらも楽しんで食べていました。そんな中、真剣な表情で取る人、なかなか取れずに取れた時にはとても嬉しそうなお表情をする人、最後尾で待ち構えてマイペースに食べる人など様々な様子が見られとても盛り上がりました。そうめん流しのほかもちらし寿司やからあげ、かき氷もあり、気付けばお腹いっぱい…。いつも小食な人も「食べ過ぎた」とたくさん食べておられました。また、来年も行いたいと思います！！



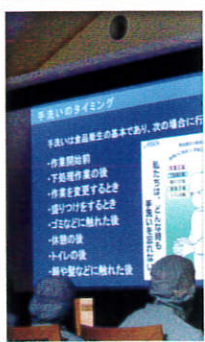
ウェルフェアーマほろば・母屋

ラスク一日7万包！？

ウェルフェアーマほろばでは、現在55名の皆さんが美味しいパンやラスクを作っています。ラスクはお正月前やお盆休み前の繁忙期になると、何と一日で7万包作ることもあるんです！（2枚1組なので14万枚です！）お客様に良い商品をお届けできるよう、一生懸命心を込めて作っています。是非ご賞味下さいね。



衛生講習をうけました



● スライドを見て勉強



● 手のひらの菌の数を調べます

6月21日（木）、アルボース株式会社から講師をお招きし、衛生講習を受けました。講習では手洗いの重要性についてスライドを観ながらお話を聞いたり、手に付いたバイ菌の数を測定し手洗い後の数値と見比べきちんと洗えているか確認を行ったりしました。研修中のメンバーさんの反応は様々でしたが、衛生への意識づけができたのではないかなど研修を見学して感じました。定期的にこのような研修を行い、一層のプロ意識を高めて頂きたいと思います。

9月に発売のまほろばのパン

まほろばで大人気だった懐かしのパンが復刻パンとして登場します！



アップルスシガーフ



越前岬



カッスマーフル



ツナロール



ピザパン



ブルーベリーヨーグルト



まるかじりウインナー



洋梨デニッシュ



今回の スポットライト

三木光司園
もんぐち
まみ

母屋
いくた
あき

母屋
なかむら
みわ

職員紹介

三木光司園 支援員 門口 真三

光司園で支援をする中で、利用者さん一人ひとりに合った支援の重要さ、その難しさを感じています。けれども一人ひとりの個性が次第に見えるようになり、試行錯誤しながら利用者さんと毎日楽しく過ごさせていただいています。これからも利用者さんが快適に過ごせるように日々学びながら支援していきたいと思っています。

母屋 支援員 生田 亜樹

入職して2年が経ちました。障がいのある方への支援は奥が深くまだまだ知らないことが沢山あります。様々なケースも発生しますが、その都度周囲の皆さんと相談し、メンバーさんにとって1番のより良い支援が出来るようにこれからも頑張りたいと思います。今後ご指導のほどよろしく願いいたします。

母屋 支援員 中村 美和

まほろばでお仕事するようになってもうすぐ2年になります。福祉の職種は初めてで、知識もなく最初はわからないことばかりでした。メンバーさんの仕事の能力等、想像以上でびっくりしました。今後、メンバーさんとの関わりを通して、私自身も成長して頑張っていきたいと思っています。

Q. 『時間のない時や上手に磨けない時の効果的な方法がありますか？』

A. まず食事はよく噛んで食べるようにしてください。よく噛んで食べると唾液の分泌が盛んになり歯の表面を洗い流すことができます。食後はお茶や水でブクブクうがいをしっかり行ってください。その後舌で歯の表面をなるべく触るようにしてください。歯の表面の歯垢の付着を減らすことができます。キシリトール入りのシュガーレスガムを噛むことも有効です。キシリトールは甘味料ですが虫歯の原因になりません。またキシリトール入りガムを継続して摂取することで虫歯菌を減らす効果も期待できます。

皆さんへアドバイス

食事はよく噛んで食べるようにしてください。よく噛んで食べることはお口の中のためだけでなく消化の助けになりますし、脳を刺激することにもなります。ですから食事の際は歯ごたえのあるものを選んで、よく噛んで食べるよう心掛けてください。歯磨きの時は必ずフッ素入りの歯磨き粉を使ってください。フッ素には歯を強くする作用があります。フッ素入り歯磨き粉を使って歯磨きをした後のうがいは、1～2回くらいにしてください。長い時間フッ素の効果を保つためにも歯磨きの後のうがいは控えめに。最後に自覚症状がなくても定期的に歯医者さんを受診するようにしましょう。



次回もお楽しみに！！



臨床
心理士

南のひとりごと ～doing より being～

これは私が好きな言葉で、人と関わる際に心にとめている言葉です。口に出してみると響きもいいし、英語も入っていてカッコいいですが、一番好きなのはこの言葉の意味です。「doing」=する事、「being」=在る事（在り方）と訳されます。調べると捉え方はいくつかあるようですが、私は「何をするかよりもどう在るかだ」と捉えています。例えば、言葉掛け一つにしても自分がどういう気持ちでいるのか、どういう態度でその言葉を発するかによって、相手への伝わり方も変わってくると思います。言葉以上に在り方から伝わるものがあるのだと思います。トラブルが起こった時などは焦って行動してしまう事もありますが、まず自分の在り方（being）を整えて物事に当たりたいと思っています。



6月4日理事会及び6月17日定時評議員会において平成29年度事業報告及び決算が承認されました。

平成29年度 事業報告

1. 理事会・評議員会の開催

理事会4回、評議員会3回

主な議案：事業計画・事業報告、予算・補正予算案承認、計算書類・財産目録承認 役員の選任、定款変更、その他諸規程の制定・改定、整備事業、土地の購入等



ホームひろば

2. ホームまほろばの新住居「ホームひろば」開所

三木市志染町中自由が丘の中古物件を購入、改修及び消防設備の整備を実施し、今年4月に開所しました。入居定員は3名。1階の多目的ルームは、ボランティアセンターとしても活動を開始しました。



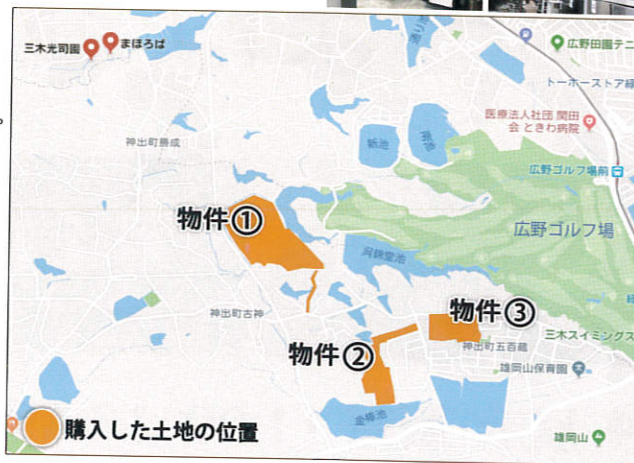
3. ウェルフェアまほろば空調設備更新

平成29年度エネルギー使用合理化等事業者支援事業（補助金事業）を活用し、工場の空調設備を高効率空調に更新し、省エネルギー化を図りました。（省エネ効果64.4%）

4. 土地の購入

甲南大学が所有していた土地の購入について、理事会及び評議員会において審議、承認され7月には売買及び登記が完了しました。

	所在地	地目	面積（坪）
物件①	神戸市西区神出町古神 223-17 他 17 筆	学校用地	16,874
物件②	神戸市西区神出町古神 字丸が丘山 157-6 他 7 筆	山林	8,804
物件③	神戸市西区神出町五百蔵 字横山 142-4	山林	6,085



5. 役員選任

平成29年6月28日定時評議員会において次期役員の選任が承認されました。

○ 社会福祉法人まほろば 役員（理事・監事）（就任年月日：平成29年6月28日）

	氏名	元・現職		氏名	元・現職
理事長	飯降 政彦	(宗) 天理教会本部本部員、前天理大学学長	理事	金附 洋一郎	社会福祉法人春秋会理事、(福) 神戸聖隷福祉事業団顧問
常務理事	門口 守子	ウェルフェアまほろば、ホームまほろば管理者	理事	今村 伊太郎	学校法人天理大学監事
業務執行理事	門口 淳一	三木光司園管理者	監事	百合岡 靖裕	税理士・有限会社ユリオカ取締役
業務執行理事	中谷 昌司	母屋管理者	監事	加藤 成久	社会福祉法人神戸聖隷福祉事業団理事

6. 評議員選任

平成29年3月7日 評議員選任・解任委員会において新評議員が選任されました。

○ 社会福祉法人まほろば 評議員（就任年月日：平成29年4月1日）

氏名	元・現職	氏名	元・現職
渡邊 和美	社会福祉法人まほろば苦情解決第三者委員 及び花道・茶道クラブ講師	松尾 眞理子	社会福祉法人博愛福祉会 理事
勝亦 すえ子	社会福祉法人夢の会 理事、保育園園長	中島 道治	元社会福祉法人天理 理事・評議員、施設長
高田 珠美	社会福祉法人まほろば苦情解決第三者委員 失語症者と家族の会「BANBANしゃべろう会」代表	岡田 龍樹	学校法人天理大学副学長、教授
友永 章子	日本習字支部教室支部長 加古川学園・神戸刑務所篤志面接委員		

平成29年度 収支決算報告

収支決算報告書は、下記まほろばホームページ上にて公開しております。
まほろばホームページアドレス：<http://www.mahoroba.or.jp/>

お知らせ

9月29日(土)	Bio 社店バザー 三木光司園参加
9月29日(土)	三木特別支援学校バザー 三木光司園参加
10月20日(土)	三木市障がい者ふれあいスポーツ大会 ウェルフェアまほろば・母屋・三木光司園参加
10月28日(日)	三木南ふれあいフェスティバル 三木光司園参加
11月3・4日(土)・(日)	三木金物まつりバザー 三木光司園参加

2018年12月1日(土) 三木市文化会館 大ホール

第6回 まほろば感謝祭

が開催されます。



🎪 展示・販売 11:00~12:45

入場無料

🎪 チャリティーコンサート 開場 12:30 開演 13:00~15:30

まほろば感謝祭のお手伝いをして頂けるボランティアさんを募集致しております。(催し物コーナーの運営、舞台係等)
ご興味のある方は TEL:0794-82-9457 までご連絡下さい。 担当:南・生友

読者様からのご意見を募集します

- ・知りたいこと、気になること(情報公開)
- ・こんなことで困っている(相談)
- ・こんな行事や活動をしてもらいたい(提案)
- ・お知らせしたいこと(告知)

皆様のご意見をお寄せください。年に2回のまほろばだよりですが、読者の皆様からのご意見を募集してご要望や情報等を共有し、今後の活動や支援等に役立てていきたいと考えております。

● ご連絡は郵便、電話、FAXでお寄せ下さい。

社会福祉法人まほろば
住所: 三木市別所町小林仕負谷 118 番地 111
電話: 0794-82-9457 FAX: 0794-82-3784 担当: 広報係迄

まほろばだより広報委員会を発足致しました。

広報委員会メンバー

門口 守子(顧問) 門口 淳一(委員長) 春田 紗希(副委員長)
中川 真佐子 門口 真子 南 祐史 松田 利香
中村 美和 門口 真三 生友 景子 門口 美音(デザイン協力)



これからも頑張ります! どうか宜しくお願いします。